

C L T活用促進に関する関係省庁連絡会議（第10回）
議事要旨

日 時：令和2年11月17日（火）10：30～10：45

場 所：官邸4階大会議室

出席者：岡田 直樹 内閣官房副長官
和泉 洋人 内閣総理大臣補佐官
西川 公也 内閣官房参与
長谷川 貴彦 内閣官房内閣審議官
植松 浩二 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京オリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官
滝澤 幹滋 警察庁長官官房会計課長
馬場 竹次郎 総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）
花村 博文 法務省大臣官房施設課長
山崎 雅男 文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長
白間 竜一郎 文部科学省高等教育局私学部長
大坪 寛子 厚生労働省大臣官房審議官（子ども家庭、少子化対策担当）
堀内 斉 厚生労働省大臣官房審議官（老健、障害保健福祉担当）
熊木 正人 厚生労働省医政局総務課長
本郷 浩二 林野庁長官
下野 浩史 国土交通省大臣官房官庁営繕部長
和田 信貴 国土交通省住宅局長
白石 隆夫 環境省大臣官房審議官（総合環境政策統括官グループ、地球環境局等担当）
江澤 正名 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー一部省エネルギー課長

1. 説明内容

C L Tの活用状況、C L T関連予算概算要求、C L Tロードマップのフォローアップ、C L Tの普及に向けた新ロードマップの作成について、長谷川内閣審議官より資料に沿って説明があった。

また、林野庁の取組みについて、本郷林野庁長官より補足説明があった。

2. 出席者からの主な意見

西川内閣官房参与より以下の発言があった。

- ・本日の会議における説明でC L Tの利用が進んできたことを実感した。
- ・温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにすることを目指すうえで、C L Tの活用促進が果たす役割は大きい。
- ・C L Tは全て国産木材を利用していることもあり、事業が拡大すれば山間部の所得向上を通じた活性化にもつながる。
- ・C L Tの需要の拡大及び活用の推進に向けた一層の取組を関係省庁にお願いしたい。

副議長である和泉内閣総理大臣補佐官より以下の発言があった。

- ・C L Tの普及のためには、大規模プロジェクトを通じた認知度の向上や、技術開発を通じた標準化等により、中小事業者における活用を進めること等が重要である。

- ・さらに、大阪・関西万博におけるＣＬＴ活用の促進に向けたＰＲ活動等や大学との連携等の地方創生にもつながる幅広い取り組みを進めていくことも重要である。
- ・新ロードマップは、様々な関係者のご意見をお聞きして、ＣＬＴの活用の急増につながるものとなるよう、関係省庁で積極的な検討を進めてほしい。

議長である岡田副長官より以下の発言があった。

- ・本日の会議では、今年度中には、ＣＬＴを活用した建築物が 550 件強に達する見込みであるとの報告があり、全国の様々な用途、階数の建築物においてＣＬＴの普及が着実に進んでいることを確認した。
- ・また、令和 3 年度予算概算要求においても、関係省庁において都市部におけるＣＬＴ等の木材需要拡大を図るための新たな支援制度についても要求していただいているとの報告があった。
- ・ＣＬＴの活用促進は、新たな木材需要を生み出し、適切な森林管理を通じた土砂災害の抑制、地方創生、国土強靱化にも寄与するものである。
- ・各省庁におかれては、引き続き、ＣＬＴの活用促進に取り組んでいただくとともに、今年度末に策定を予定している新ロードマップが充実したものとなるよう御尽力いただきたい。

以上